

アジア研

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

ワールド・トレンド

特集 朝鮮半島の都市

6

セミナー報告

●国際学術研究カンファレンス (IDE Conference 2015)
開催報告

2015
No.236

フォトエッセイ

●タイの花文化—バンコクにあふれる花々—



IDE-JETRO

1	巻頭エッセイ／慶州と日本列島の交通	李 成市
特集 朝鮮半島の都市		
2	特集にあたってーソウルと平壤ー	中川雅彦
4	植民地時代の「府」と解放後の「市」	中川雅彦
8	ソウルー600年の歴史と江南への発展ー	奥田 聡
12	「未来都市」仁川の光と影	大畑裕嗣
14	群山の近代文化都市開発事業	金 中奎
18	映画・港湾・国境の街 釜山	木村 貴
22	蔚山ー韓国を代表する工業都市ー	安倍 誠
24	平壤ー社会主義朝鮮の首都、経済開発区ー	司空 俊
28	歴史・文化・産業都市の開城	金 貴東
32	人口と都市	文 浩一
35	フォトエッセイ タイの花文化ーバンコクにあふれる花々ー	初鹿野直美
39	セミナー報告 国際学術研究カンファレンス (IDE Conference 2015) 開催報告	有本 寛
42	連載／ベトナム歩道 第6回 街の歴史	寺本 実
新刊紹介		
43	中国の都市化ー拡張、不安定と管理メカニズムー	任 哲
44	新興諸国の現金給付政策ーアイデア・言説の視点からー	牧野久美子
45	ライブラリ・コーナー 韓国の都市	狩野修二
46	連載／アジ研図書館を使い倒す 第29回 アジ研図書館はなぜ、どのように誕生したのか	辛島理人
48	IDE Updates 研究所の取り組みをご紹介します	
49	アジア各国・地域 経済統計 中国／香港／台湾／韓国／タイ／シンガポール／マレーシア／インドネシア／フィリピン／ベトナム／ミャンマー／カンボジア／ラオス／インド	研究企画部研究企画課
54	アジ研だより	

表紙写真：ソウル・北村にある伝統家屋（撮影：安倍 誠）

本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

▶アジア経済研究所開発スクール (IDEAS)

第26期日本人研修生の募集・選考

IDEASでは下記のとおり日本人研修生を募集いたします。
アジア経済研究所開発スクール (Institute of Developing Economies Advanced School、略称イデアス (IDEAS))は、国際協力・開発援助の現場において、高度な専門性を持って活躍できるエキスパートの育成を目指して、1990年より実施されている研修事業です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。

<http://www.ide.go.jp/Japanese/Ideas/Appli/index.html>

1. 募集人員 10名前後

2. 応募資格 以下の5つの条件を満たす者

- (1) 将来、開発・援助の分野に従事する意志を有する者
- (2) 4年制大学卒以上の者 (専攻分野不問)
- (3) 高度な英語能力 (TOEFL(iBT)88) 以上、TOEIC800 以上、IELTS6.5 以上、国連英検 A 級、英検準 1 級のいずれかに相当を有する者
- (4) 日本国籍を有する者または日本の永住者
- (5) 国内研修後、海外の大学院等で1年の勉学を希望する者 (ただし、費用は全額自己負担)

3. 研修期間 前期 2015年9月1日～2016年3月10日
後期 2016年3月14日～2016年7月14日
(前期課程履修者は後期課程を履修することができる)

4. 研修内容 経済理論、開発論 (経済・社会)、地域研究、ゼミナール、国際機関・海外大学教授による集中講義、語学 (英語) など

5. 学費等 授業料 前期 275,555 円、後期 275,555 円 (入学金不要) 国内研修費用、教材は開発スクール負担

6. 提出書類 (※志願書およびエッセーのサンプル書式は、アジア経済研究所ウェブサイトよりダウンロード可能です。提出書類は返却しません。)

- (1) エッセー (和文および英文)
- (2) 受験志願書 (和文および英文)
- (3) 学業成績証明書 (最終卒業校のもの。大学院修了者の場合は学部と院の証明書)
- (4) 卒業証明書 (最終卒業校のもの。大学院修了者の場合は学部と院の証明書)
- (5) 英語能力を証明できる書類 (TOEFL 等のスコアシート。過去3年以内に取得のもの。コピー可)
- (6) 書類選考可否通知用封筒 (長形 3 号 (120mm×235mm) に 92 円分の切手を貼付、住所氏名を明記したもの)

7. 選考スケジュール

- | | |
|--------------|---|
| (1) 応募書類受付 | 5月1日(金)～5月29日(金)まで
<当日必着> |
| (2) 書類選考結果通知 | 6月5日(金) |
| (3) 筆記試験 | 6月13日(土) ※受験料 10,290 円 |
| (4) 筆記試験結果通知 | 6月19日(金) |
| (5) 面接試験 | 6月25日(木)または26日(金)
(海外在住者は6月15日に受験も可) |
| (6) 最終合格発表 | 7月3日(金) |

お問い合わせ先

ジェトロ・アジア経済研究所 開発スクール事務局

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2

Tel. 043-299-9562 Fax. 043-299-9728

Email goideas@ide.go.jp

個人情報の取扱について

募集に際して提出いただいた書類は、ジェトロ個人情報保護規程に則り厳重に管理し、選考以外の用途に使用することはありません。また、これらの個人情報は正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与を行うことは一切ありません。

個人情報保護管理責任者 国際交流・研修室主幹 Tel. 043-299-9562

2015年7月号特集の予告 「途上国・新興国とスポーツ」

スポーツはするにせよ、観るにせよ人々の生活に密着したものであり、その楽しみ方は国・地域によって異なっている。またプレゼンスが大きいスポーツの場合、政治や経済とも密接な関わりをもつことがある。近年ではスポーツビジネスのグローバル化が進行し、それが各国・地域にも影響を与えるようになってきている。本特集ではこうした途上国・新興国とスポーツの多様なあり方を、国・地域毎に紹介する。
(6月15日刊行予定。タイトルは変更することがあります。)

アジア研ワールド・トレンド
第21巻第6号 通巻236号
2015年5月15日発行
編集・発行

日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究支援部
〒261-8545 千葉県美浜区若葉3丁目2番2
電話 043(299)9735 FAX 043(299)9736
ウェブサイト www.ide.go.jp

印刷・製本 奥村印刷株式会社

© 日本貿易振興機構アジア経済研究所 2015年

《個人会員》ご入会のご案内

『アジア研ワールド・トレンド』の配付をはじめとする様々なサービスをご提供する個人会員制度がございます。年会費は10,000円です。サービス内容は以下のとおりです。

- 「アジア研ワールド・トレンド」(月刊) 送付
- アジア経済研究所図書館蔵書貸出 (登録が必要となります)
- アジア経済研究所出版物 (単行書) 1点を追加配付いたします。
- 各種料金割引
- 講演会等の開催の事前案内

詳細は <http://www.ide.go.jp/Japanese/Members> をご覧ください
お問い合わせ先 成果普及課 賛助会担当まで
Tel: 043-299-9536 e-mail: members@ide.go.jp

《アジア研ワールド・トレンド編集委員会》

長島忠之 (委員長)、片岡真輝、山口真美、荒神衣美、渡邊祥子、近田亮平、橋口善浩、磯野生茂、小林磨理恵、野村茂樹、新田淳一、安倍 誠、真田孝之

『ココア共和国の近代

—コートジボワールの結社史と統合的革命—』

佐藤 章著 / 本体価格 4,400 円 + 税 / A5 判 / 356pp. / 2015 年 3 月発行 / ISBN9784258046157

アフリカにはまれな「安定と発展の代名詞」と謳われたこの国が突如として不安定化の道をたどり、内戦にまで至ったのはなぜか。世界最大のココア生産国の 1 世紀にわたる政治史からこの問いに迫る、本邦初のコートジボワール通史の試み。(研究双書 No.615)

序 論—ココア共和国の近代を問い直す

第 I 部 危機の歴史的背景

第 1 章 コートジボワール植民地の成立

第 2 章 胚胎した統治的結社—「プランター主導」組織 SAA の実像—

第 3 章 統治的結社の誕生と「脱プランター化」—植民地期後期における PDCI の組織化の実態—

第 4 章 ウフェ支配下の統治的結社と統合的革命

第 II 部 危機の展開とその意味

第 5 章 イボワール人性問題の播種—1990 年代の新たな状況—

第 6 章 イボワール人性思想の継承—軍事政権と新たな局面転換—

第 7 章 内戦と和解プロセスのなかのイボワール人性—内戦期政治における連続性—

第 8 章 政治的結社とイデオロギー—結社史から俯瞰するコートジボワール国家—

結 論

『アジアの生態危機と持続可能性

—フィールドからのサステナビリティ論—』

大塚健司編 / 本体価格 3,700 円 + 税 / A5 判 / 294pp. / 2015 年 3 月発行 / ISBN9784258046164

アジアの経済成長の周辺に置かれているフィールドの基層から、長期化する生態危機への政策対応と社会対応に関する経験知を束ねていくことにより、「サステナビリティ論」の新たな地平を切り拓く。(研究双書 No.616)

序 章 生態危機と持続可能性—サステナビリティ論の視座— / 大塚健司

第 1 章 根絶と対処—モンゴル国沙漠地域におけるゾド（寒雪害）対策— / 中村知子

第 2 章 ポスト「北方の三位一体」時代の中国エヴェンキ族の生業適応

—大興安嶺におけるトナカイ飼養の事例— / 卯田宗平

第 3 章 中国内陸半乾燥地域における災害リスク対応と「村」の発展戦略

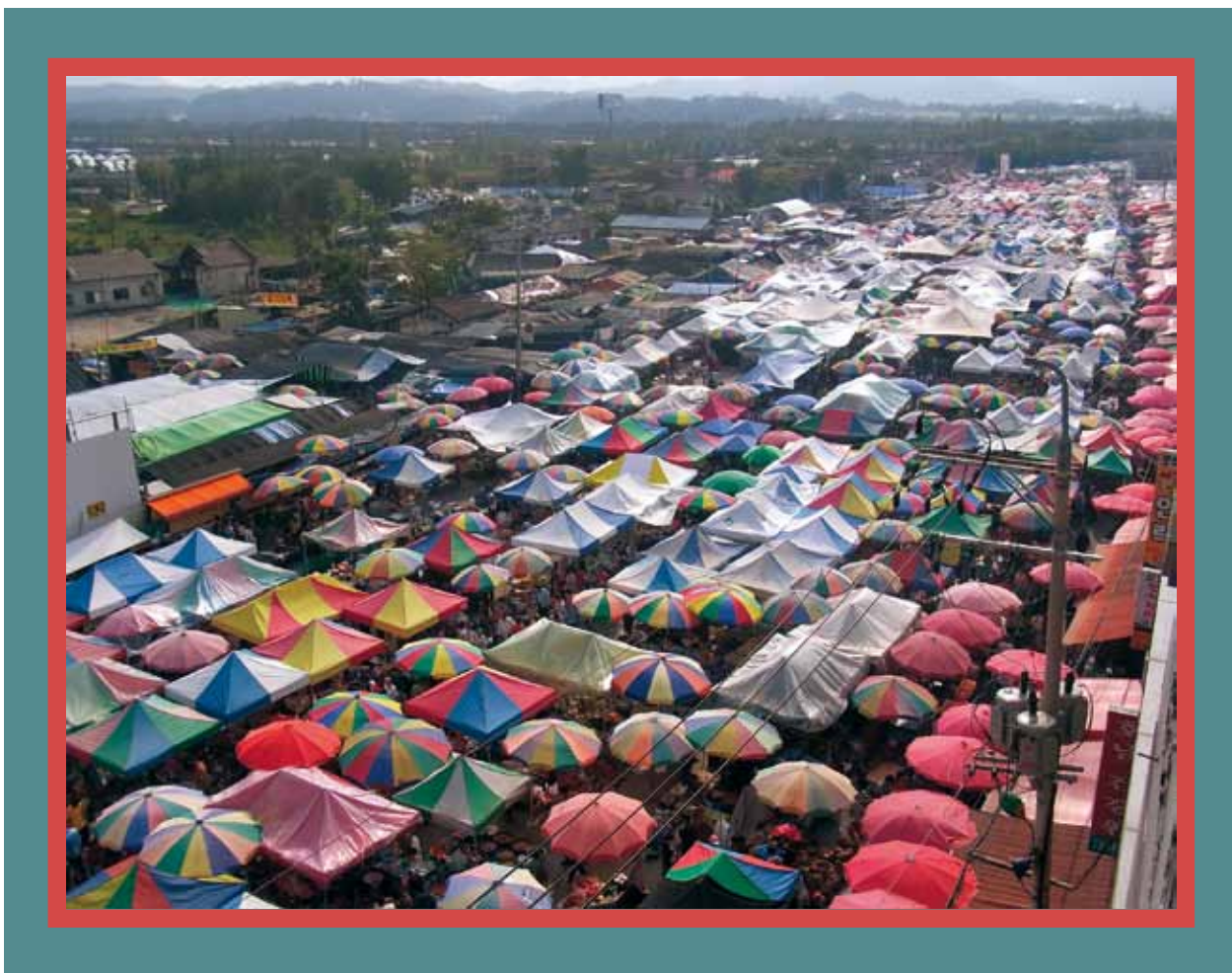
—甘粛省張掖オアシスを例に— / 山田七絵

第 4 章 農山村の維持可能性と限界集落問題への対応—高知県仁淀川町の事例から— / 藤田 香

第 5 章 アラル海災害の顕在化と小アラル海漁業への初期対応策 / 地田徹朗

第 6 章 中国の水汚染被害地域における政策と実践—淮河流域の「生態災難」をめぐる— / 大塚健司

終 章 サステナビリティ論の展開に向けて—知見の総合と今後の課題— / 大塚健司



毎月4と9の付く日に開催されるソウル郊外城南市の牡丹市場 (撮影: 安倍 誠)